

平成29年第1回長万部町総合教育会議（議事録）

- 1 開催日時 平成29年2月16日（木）
開会：午後3時30分 閉会：午後4時25分
- 2 開催場所 長万部町役場2階庁議室
- 3 議題 《報告事項》
 - (1) 平成29年度当初予算要求における教育委員会の主な事業について
 - (2) 平成28年度卒業式日程及び平成29年度新入学児童生徒数について
 - (3) 平成28年度長万部町教育功労・実践活動顕彰表彰者について
- 4 出席委員 町 長 木 幡 正 志 教育委員長 北 山 陽 子
教育委員 村 上 学 教育委員 小 野 雄 二
教育委員 大 山 喜美子 教 育 長 鈴 木 祐 司
- 5 欠席委員 なし
- 6 会議に出席した事務局職員等
事 務 局 本 前 武 広（総務課長）
事 務 局 佐 藤 久（総務課総務係長）
説 明 員 岡 野 喜美雄（学校教育課長）
説 明 員 佐 藤 修（社会教育課長）
説 明 員 米 代 剛（学校教育課主幹兼学校教育係長）
説 明 員 前 田 和 也（学校給食センター学校給食係長）
- 7 傍聴者 なし
- 8 議事の経過 別紙のとおり

開会

●事務局（総務課長）

皆さんこんにちは、平成29年第1回長万部町総合教育会議を開会いたします。

はじめに、町長から開会にあたってのご挨拶をお願いいたします。

●木幡町長

どうもこんにちは。大変お忙しい中お集まりを頂いてありがとうございました。

長万部町総合教育会議にご出席を頂きましたことに心から感謝を申し上げます。

教育委員の皆様には、日頃より本町教育の充実、発展、さらには子どもたちの健全育成のためにご尽力を賜りまして誠にありがとうございます。

一昨年の10月、法改正後初めての総合教育会議を開催し、早いもので今回で4回目の開催となりました。

これまで、教育大綱の策定、子どもいじめ防止条例の制定、学校運営協議会制度の導入など、「個性的で豊かな人と文化を育むまちづくり」の実現に向け、種々協議を重ねてきたところでございます。

これからも回を重ねるごとに、本町の子ども達の教育にとって何が必要か、そして何を進めていけば良いのかというスタンスで、幼・保、小、中、高、大学まで揃った本町の特色でもある恵まれた教育環境や生涯学習について、少子高齢化に対応しながらどのように維持・発展させていくかなど、教育行政が抱える多くの課題を、首長と教育委員会が相互にその方向性を共有し、それぞれの役割と責任に応じ、より一層の連携が図られるよう、皆さま方と意見交換ができる、そういった会議にしていきたいと考えておりますので、本日はよろしくお願いを申し上げます。

●事務局（総務課長）

ありがとうございました。

続きまして、教育長からご挨拶を頂きたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

●鈴木教育長

皆さんこんにちは。

町長におかれましては、平成29年第1回目の総合教育会議を開催させて頂きましてありがとうございました。

例年この時期は、教育委員会としましては、今年度の様々な事業の反省、そして新しい年度の執行方針の検討をしている時期でありまして、事業の具体的な改善点も話題になっているところです。

当然、その際には1年のありよう、町政のありようをきちんと見据えた上で教育行政施策を考えなければならないところになっております。

本総合教育会議ですが、制度上法令に基づいた会議の中で、教育委員の皆さんが本町の子ども達の教育のありようについて意見を述べていただくことは、とても意義のあることですし、町の教育行政を進める上でも大変役立つ、そういう会議になっております。

まずはこういった意見交換ができることに感謝を申し上げ、進めていって頂ければと思っておりますのでよろしくお祈りいたします。

●事務局（総務課長）

ありがとうございました。

それでは議題に入る前に、「長万部町総合教育会議運営要綱」により、本会議の議長は町長が務めることになっておりますので、これからの進行をよろしくお祈りいたします。

●木幡町長

それでは、次第に沿って進行させて頂きます。次第の3、議題に入ります。

報告事項として、(1)平成29年度当初予算要求における教育委員会の主な事業について、(2)平成28年度卒業式日程及び平成29年度新入学児童生徒数について、(3)平成28年度長万部町教育功労・実践活動顕彰表彰者について、資料が1枚にまとめてありますので、3件一括して説明員から説明をお願いいたします。

報告事項

- (1)平成29年度当初予算要求における教育委員会の主な事業について
- (2)平成28年度卒業式日程及び平成29年度新入学児童生徒数について
- (3)平成28年度長万部町教育功労・実践活動顕彰表彰者について

●説明員（学校教育課長）

それでは、報告事項(1)から(3)までを一括報告させて頂きます。

(1)平成29年度当初予算要求における教育委員会の主な事業についてです。

学校教育関係では、小学校において静狩小学校体育館遮光幕取付工事、それから中学校におきましては、長万部中学校トイレ洋式化工事、体育館ステージ天井材落下防止対策工事、それと体育館照明器具落下防止対策工事になります。

社会教育におきましては、シャクシャイン古戦場跡碑肖像画埋込工事、平和祈念館・植木蒼悦記念館案内看板設置工事、スポーツセンター屋上防

水部分補修工事となります。

給食センターにおきましては、スチームコンベクション入替工事、連続炊飯器更新工事、給水装置更新工事となります。

(2)平成28年度卒業式日程及び平成29年度新入学児童生徒数についてです。

まず、卒業式についてです。3月1日には長万部高等学校、それから3月16日には長万部中学校、3月17日には静狩小学校と長万部小学校で卒業式が行われます。

続きまして新入学児童生徒数についてです。長万部小学校では、35名の入学予定となっております。それから静狩小学校におきましては2名の入学予定で、合計37名の入学予定です。

中学校におきましては28名の入学予定となっております。

この資料作成後なんですけども、長万部小学校に1名転入する予定があるということで、3月中に転入手続をされるということで、実際には長万部小学校は36名ということになりまして、学級編成が35名までは1学級なんですけど、36名から2学級ということで、2学級編成になる予定となっております。

続きまして裏面になります。(3)平成28年度長万部町教育功労・実践活動顕彰表彰者についてです。

まず社会教育顕彰についてですが、2団体になります。「長万部俳句会」こちらは文化協会加盟団体になります。受賞理由としては、昭和24年に設立されまして、文化協会設立時から加盟団体として本町俳句界を牽引するとともに地域文化の振興に寄与してきたということでもあります。

もう1団体は「長万部町地域女性団体連絡協議会」になります。こちらにつきましては、青少年の健全育成に役立ててほしいということで、様々な活動や諸行事への参加を通じて青少年健全育成協議会への寄付、それから青少年の参加する鑑賞機会に配慮した取り組みを行っておいりましたので、青少年健全育成協議会のほうから推薦を頂いております。

続きまして、児童生徒実践活動顕彰になります。こちらは個人3名、団体1となります。

個人では、長万部中学校3年生「大谷大斗さん」です。こちらは、第44回北海道中学校柔道大会におきまして第3位の成績を収めました。

中学校2年生「中山和香さん」につきましては、北海道卓球選手権大会に出場いたしまして、北海道ランキング第7位ということでジュニアオリンピックカップ平成28年度全日本卓球選手権大会に出場しております。

中学校1年生におきましては「福永晴翔さん」

です。受賞理由につきましては、中学校作文コンクール特選ということで北海道知事賞を受賞しております。

団体では「長万部中学校女子卓球部」が対象となります。こちらのほうは北海道中学校卓球大会女子団体の部で第3位ということで、全国中学校卓球大会に出場しております。

なお、表彰式につきましては2月28日火曜日16時から役場2階会議室で行う予定となっております。以上であります。

●木幡町長

ただ今説明がありました報告事項について、(1)平成29年度当初予算要求における教育委員会の主な事業について、何かご意見ありましたらお受けしたいと思います。

ございませんか。

●大山教育委員

スチームコンベクション入替工事ということで、今までは蒸し器とオーブンと二つあって、それぞれ単品だったんですけど、これはすごく良いもので、蒸したり焼いたり煮たりできるということで、献立が今よりも充実するというか多様化できるのかなというふうに思っています。

けっこう値段の高いものなので、それですごく良いことだなと。以上です。

●木幡町長

連続炊飯器も今回新たに更新させて頂いて、できるだけ支障のないようにしていきたいなと思っています。なんせ老朽化してきて、次から次へとどんどん出てくるものだから、1回にやれば何億もかかるので徐々に徐々に更新していければなど、ただ大事な部分はやっぱりきちっと、心臓の部分はやっておかないと、そこが壊れちゃうと供給できないということになると困るので、その辺りをちょっと検討の課題にしてあります。

他にありませんか。

●北山教育委員長

静狩小学校のカーテンですが、壁がきれいになったのにすごいボロボロだったので、新しくなるということは大変嬉しいことだなと思います。

●木幡町長

全てできれば本当は良いんだけども、少しずつでも改善点を出さないと閉校させるのかという意見が変わってくると困るので、できるだけ教育環境の整備をしていきたいと思っています。あと、職員室のカーテン取替とかは無かったかな。

●説明員（主幹兼学校教育係長）

予算に入っております。金額が少額でしたので。

●説明員（学校教育課長）

金額の大きいところを抜粋させて頂きました。

●木幡町長

静狩小学校の職員室の中のカーテン取替、この中には少額のため載せておりませんでした。

他にありませんか。

●小野教育委員

シャクシャインの肖像画というのはどういったものなんでしょうか。

●木幡町長

今まで静内の砦というか斜地に、シャクシャインの像が、数メートルの像が建っていて、このデザインは40年前の古いものだから、それを去年新しい像に取り替えると、ブロンズ像に取り替えることに大体4千万円かかるということで、そして今の像を我々が活用するとなると著作権があり、制作者に著作権料を納めないといけなく、制作者は亡くなっているんですけど、制作者の家族から要求されています。

だからそれを使わないで新しくデザインをするので、そのデザインを使って下さいということで、今シャクシャインの古戦場跡の碑というのは、それをプリントアウトできるようにスペースを空けてありまして、そして静内の方向にきちっと向けてあって、静内町に方角を合わせて、それと今ある真歌の丘の新しくできるブロンズ像と同じデザインの物を埋め込むという予定でやっているところです。

ですが、なかなかそれが、例えば静内、新ひだか町なんですけど、4千万円の制作費がまだで、もうちょっと時間がかかるということと、デザインが色々出てきているんですけども、なんせ347年前の人物だから、347年前の人物像をデザイン化するというので、その基になる物が無くて、40年前のデザインはどこからとった想像上のデザインかといったら、カナダの牛飼いさん、牧童さんの像のデザインが基になっているということで、非常に批判的にもなっていたのでそれを変える形をとっていきたいということで、新しいデザインにするよう進めています。

デザインについては公募しているんですけど、色々あがってきているデザインを見て最終的に決めたいと、それが決まったらぜひそのデザインでお使い下さいということで、これには著作権がかからないということで、それができあがるのを待っている状況なんです。

それを碑にプリントアウトできるということで、石んですけど投影してやると自動的に掘らさるということで、そういう像をそこに付けることによってこの古戦場跡の碑が完成を向かえるということになるので、今回19万4千円を新たに予算計上して、新年度になっていつでも工事にかかれるよう

にしておりまして、これはぜひ一回雪解けにでもこの像がプリントアウトされたら見て頂きたいんですが、今はまだそこまでいっていないとか、完成までもう少しということを理解しながら見て頂ければと思います

●北山教育委員長

その下の平和祈念館・植木蒼悦記念館案内看板設置工事ですが、看板ってこんなにかかるんですか。肖像画埋め込みの19万4千円に対して、立派な物を作るんですか。

●木幡町長

何か所かあるんですよ。大浜と陣屋町の交差点の所にありまして、それが見えにくいということで、しっかりと案内看板を置かないと探しにくいという話が出てまして、少し予算はかかるんですけども、どうせやるならきちっとやりたいということです。

●北山教育委員長

1カ所じゃないということなんですね。

●木幡町長

そうです。

他にありませんか。

スポーツセンターの屋上防水部分の補修工事は、けっこうスポーツセンターも建ててから年数が経っているものですから、全体的に傷んでいるんですけども、全部剥がして直すとしたら本当に建て替えるだけかかるので、部分的に補修するしかないということで今回129万6千円の予算でやらせて頂くということで、予算を組んでおります。

その他いいですか。

(「なし」の声あり)

●木幡町長

ご質問がありませんので、次に(2)平成28年度卒業式日程及び平成29年度新入学児童生徒数について何かご意見、ご質問ありませんか。

先ほど説明がございましたが、長万部小学校に1名転校して36名になります。36名になると1クラスが35名なので、2クラスになりますという説明が先ほどありました。

静狩小学校には男女1名ずつの2名が入学する予定であります。

卒業式日程の日時も記載されておりますけど、ご質問などがあればお受けしたいと思います。

(「なし」の声あり)

●木幡町長

ご質問がありませんので、次に(3)平成28年度長万部町教育功労・実践活動顕彰表彰者について何かご意見、ご質問ありませんか。

それぞれ立派な活動をなさったり、それなりの成績を中学生で収めたり、本当に去年は女子卓球

部が大活躍で、全道で3位になって全国大会に出場されたということで、長万部町にとっても町民挙げて協力をしたいということで、横断幕や懸垂幕等を作成し、皆さんに報告しながら、町民の皆さんが少しでも応援してくれればいいということでやったんですが、その他にも中学校1年生の福永晴翔くんが第44回中学生作文コンクール特選に入ったということで今回顕彰を受けられるということなので、褒めることがあれば大いに褒めてください。たくさん活躍した人方なので。何かご意見ありませんか。

●小野教育委員

福永くんの北海道知事賞の作文を、本人の承諾がないといけないのでしょうか、広報などに掲載できないものなのでしょうか。

●鈴木教育長

毎日新聞か朝日新聞には掲載されているんですよ。ちょっと検討させて下さい。

子どもは読んでいますけども、心に響くといえますか、この頃の子どもの思いと成長していく過程が見えるようなとても良い文章でした。

●村上教育委員

コンクールだと、多分その主催者に掲載権みたいなものが出てくる可能性があるのですが、事務局のほうに確認してもらったほうが良いと思います。

●木幡町長

今、広報に掲載ということでお話があったんですが、村上先生のほうから、主催者のほうに権利が移っている可能性があるということで、これは事務局がきちっと調査して、長万部広報に掲載できるのか確認をお願いいたします。

もしそれでいいですよという話になると、広報の担当に話をして全文掲載できるような形をとればと、顕彰を受けるこの人方も広報に掲載するわけですから、それらを含めて検討させて頂ければと思います。

2月28日16時から役場2階会議室で、2団体3個人1団体ということで表彰式を行うということでご理解を頂ければと思います。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

●木幡町長

以上で報告事項の1から3を終了します。

次に、4のその他であります、事務局から何か報告はありますか。

(「ありません」の声あり)

事務局からの報告はないということなので、せっかくの機会ですので、残りの時間を情報交換の場としたいと思います、どなたか話題提供していただければと思います

報告事項

(4)その他について

●村上委員

総合教育ということなので、町全体の教育に関わって1点だけなんですけど、来年度の東京理科大学と町の教育に関して、今年度の4月ぐらいから理科大の中でも町への貢献、あるいは地域貢献に関して色んな整理を行おうということで、委員会も立ち上がって活動というか検討とか色々やってきたんですけども、こちらのまちづくり新幹線課と理科大のほうで、3月ないし4月に年度の事業予定について一度話し合いたいということにもなっています。

多分町長のほうにもそういうお話しが加藤課長のほうから回っているのかもしれないんですけども。

●木幡町長

まだ回ってきていませんでした。

●村上教育委員

町のほうから70万円ほど予算を理科大のほうに頂いていますけども、その頂いた予算の使い道をどうするかということについては、具体的な話を実はちゃんと、ちゃんとということはないんですが、積み上げ式でそれぞれの企画はちゃんと動いてますけども、全体として来年こうしようとか、或いは町からの要望を大学が受けて新しい事業としてこういうことをやるのも良いですねとか、逆に大学のほうでこれがなかなか難しくなってきたので変えたいとかという話をするのを、今までやってこなかったということがあって、それを3月末ないし4月の段階でやりたいですねと、その中に含まれる事業が、いつも教育委員会のほうでやっている「わくわく自然塾」の理科実験、それとブラウン先生の英会話、私も関わっていませんけど小中学生向けの理科実験教室、それでも一つがですねハートフルコンサート、これまでも実はその予算でやっていたんですけども、なんとなく最近町の方の参加ということに関して少し手薄になってきている部分もありましたので、ハートフルコンサートにつきましては、役場との協力で町民の方の参加をもう少しきちんとした形で募集して、プログラムの中に入れて大学生と一緒に関わりができる企画にしたいと今のところ考えて、担当が実は私なんで、考えているところです。

大まかに言うとそういう形で話し合いを持ちたいなというふうに思っておりますので、役場の皆様方のほうは、まちづくり新幹線課のほうに、例えば要望やアイデアがあれば伝えておいて頂ければ、その打合せの時に要望を聞いて、すぐに実現

できるかは分かりませんが、大学のほうでもきけるだけというふうな動きになろうかと思っていますし、大学のほうでも職員の数、教員の数はその多くはありませんので、それと学生が1年で交代してしまうというのが、非常にこういうケースでは問題なんで、積み上げられなくて、教育して動けるようになったらもう出ていくっていうサイクルで、なかなか難しい部分もあるんですけども、そこは少し色んな形で対応したいと思っています、大学のほうも大学のほうなりにちょっとわがままみたいなものもありますので、町のほうと協議したいなと思っています。

あまり公式な場ではよくないかもしれないんですけども、榎本先生が来年いっぱい退職されるんですが、実はお金を使われていないので予算には絡まないんですけども、大学地域貢献事業の一つとして「ピタゴラス」も含まれています。ですから管轄としては同じですが、ピタゴラスに関しては大学のほうも今は良いアイデアがないという状態で、小学生・中学生の放課後の学習機会の確保という点で、来年度いっぱい大学のほうでも少し知恵を絞りたいと思いますけども、ぜひ良いアイデアがあれば協力して学習機会の確保に努めたいと思うんですけど、完全に榎本先生の人柄と献身的な働きでもっている会ですので、あの働き方を私を含め他の教員にお願いとなると正直難しいと、榎本先生自身もそういう形での引継を考えていないと明言されていらっしゃるので、じゃあ代わりにというか、また違う形で放課後の学習機会とか、あるいは大学生が小中学生に勉強をみたいなのをちょっとどういうふうにしたら良いのかということについては、ちょっと頭が痛いというか、今ちょっとアイデアがないということになります。

大学はアルバイトが禁止なんで、家庭教師だとか塾だとかいう形ではちょっと難しいですよ。自分たちの勉学にいそしみなさいという教育目的がありますので、それはなくてボランティアでと。あとは、学期中しかうちの学生はいないということもありますので、その辺の条件、あとは場所として理科大の敷居が相変わらず高いというか、理科大に来て下されば色んなことができるんですけども、なかなか、ある決まった時間に理科大に集まれというのは難しいと、我々の努力もまだ足りないんでしょうけど、ですからやるとすると文化センターの図書室とか、今はあつまんで使われていますけども、あつまんでないしは文化センターのどちらかでやるとすると、学生の足であるとか、そういうことも含めてなんとかしないと。

すいません、少し長くなりました。

●木幡町長

色々で大学さんのほうから長万部のために、児童・生徒のために一生懸命貢献してくれるという、逆に長万部のほうからサポートがないっていう、何か大学が勝手にやっているんだというふうにとられている部分があるんで、我々もその話については五十嵐先生からもお話を伺っていて、見直しをかけないといけないという話までちゃんとあったんで、強烈に受け止めています。

今後のありようということは十分、例えばハートフルコンサートもそうなんだけど、ただやってくれ、やっていますよ、ではなくて我々が何のPRもしないということは、やってくれている人達にとって失礼なんですよね。そういうことも含めて全体をサポートしていないということが、大学さんのほうも、我々もやっぱり言われたらそのとおりなんです。だからやっぱりそこは今後とも十分に協議していかなければならないと思っています。

この間、藤嶋学長からお電話を頂いて、5月19日に姜尚中（カンサンジュン）先生を長万部に連れてきたいということで、講演をやりたい、町民のためにやりたいということで、今大学の本学の企画担当のほうとつないで、学習文化センターを用意してですね、どのようにしてやるか、そしてテーマはあまり難しくない内容でやって頂きたいという話を詰めている段階なんで、その時に藤嶋学長も一緒に長万部に来られるということで、20日の日は大学で講義をやりたいと、こういう話で新しい話も進んできているんで、そこは五十嵐先生のおっしゃる「やることはやるんだけどサポートも何も無いような状況ではあれだよって」言われてるんですけど、ちょっとその辺はやっていきたいなと思っています。

新年度に入って、今おっしゃられた榎本先生のピタゴラスの教室もそうなんだけど、色々委員会などの教室をやってもらったりしながらやっているんだけど、その辺の実態が見えない状態でいたということで、その反省点を持ちながら進めていけたらと思っています。

新しく毛がにの養殖実験もやるということで、この間大学のほうに、漁組さんのメンバーを引き連れて協力体制を万全にするということで、連れて行って話をしてですね、どういう形で進めていくかということで、今年の6月頃から新たに立ち上がってくる、そういった研究事業に是非参加をさせて頂くという方向で協議に入らせてもらっているところなんで、3月になってくると先生方も、入寮してくる学生の入ってくるまでの間ちょっと時間があれば協議したいということで、話を進めさせて頂きますのでよろしくお願いした

いと思っております。

他にありませんか。

話題提供ということで、村上先生から色々話があったんですけど、どうぞ。

●小野教育委員

直接教育に関するかどうかちょっと分からないんですけど、話題提供ということで、土曜日の新聞だったと思うんですが、新幹線を核としたまちづくりで長高の生徒さんの記事があったんですね。ウォーキングコースでAからFまでの6コースがありまして、その中にちょうど、飯生神社の下から富野の方に上がっていくコースがありまして、パワースポット巡りということで、富野のほうに上がって行って牧草地があるらしいんですが、そしてヘリポート、桜並木、富野神社、樹のトンネルを抜けるとイーグルの会社、そのコースがDコースであります。

そのスタートの飯生神社の下の赤い大鳥居の所に花壇があります。ちょうどあの場所は通学路にも当たる場所で、昨年1年間雑草地だったんです。花が植えられなくて。そこを、新幹線を核というのは13年後なんで、13年後にやればいい話なんでしょけど、1年間雑草だったというのは、非常に通学する子ども達も、それを見ながら行くというのはあまり良い雰囲気ではないなという思いがちょっとありまして、小学校6年生でも、中学生でもいいんですけど、例えばちょっと違うあれでいけば人権擁護なんかでは花いっぱい運動みたいなことをやっているんですけど、それは先ほど下で聞いてきたら今年は予算が無いということなので、教育委員会のほうでちょっと、総務のほうでも予算を取れば、ちょっとした花でも、そこに子ども達に花を植えながら、心を和ませるようなことで植えて頂ければいいなと、持ちものが多分町だと思うんですけど、今まで町内会がやっていたと思います。

●北山教育委員長

昔は衛生組合が色々やってくれていたんですけど、それが無くなって、うちの所のロータリーは、橋川さんが個人でやっています。

●小野教育委員

そうですね。かなりご高齢の方で、1人でやってらっしゃるんですね。

●木幡町長

昼に下で話していたのを近くで聞いていて、予算の話をしていたので何かと思って聞いてたんですけど、今、北山委員長がおっしゃるとおり衛生組合がやっていて、その後に橋川さんが近所だからということで、一生懸命草取りをしたり花を植えてくれたりしていたんですけど、だんだん高齢

になってくると引き継いでくれる人がいなくなるということ踏まえて、予算がどうかなどの話をしてたけど、気がつかないでいたわけではないんですけども、衛生組合の所有がどういう形で移っているのかということも含めて、きちっと検証してみないといけないなと思っています。

ただ単に植えてしまうと、誰の持ちものよってという話になったときに、町の持ちものであれば遠慮なく色々やれるんですけども、去年連絡があって、建設課に草刈をしてもらったという話がちょっとあって、気がつかないのではなくて、ここをやるのであれば、町が予算を付けて花を植えて、例えば陣屋の近くの人が管理してくれるよって言えば、花だけ買ってやれば良いのかいってという話になると、それはそれで考え方がきちっとできるんですけど、まず所有の権利がどうなっているのか、それで今後の管理っていうのは誰がきちっとしてくれるのかという道筋をきちっとつけたうえで、春の花を植えるのか、夏の花を植えるのか、秋の花を植えるのかっていう話になるから、それで、そういった方向もきちっとしなければ駄目だなと思って、たいした予算もかからないので、今日午後からその話を聞いてたんで、来年の春先に向けての課題だと思っています。

●北山教育委員長

ただ植えるだけなら簡単なんですけどね。

●小野教育委員

今日は本も持ってきたんですけど、どんな花を植えたならあまり管理しなくていいとか、雑草を殺すような花もあって、こういうものを持って望んだんですけど、横で町長が全部お聞きになっていたということで。

●木幡町長

まず、さっきの高校生のウォーキングコースの話は6カ所あるんですけど、この間まちづくり協議会の中で高校生が発表したんですけど、積極的にまちづくりに参加させようと思っているんですよ。

今、高校からは2人くらい委員に選んでくれているんですけど、校長はいらないといたら学生を2人選んでくれたんですけど、その子達が生徒会でワーキングをやってくれたんですよ。そして6コースを作ってくれて、今日6時10分からNHKで放送されますのでよく見てください。

そういうことで今考えているのは、将来の町をつくるのは高校生、中学生、児童、この児童会、中学校の生徒会、それから高等学校の生徒会、この3つでワーキングをやらせて、先ほどの福永さんの話じゃないけども、そういった知恵や夢が生まれてこないと、20年、30年後の将来を見渡すと、我々の20年、30年後だと名前が変わってるんだか

ら、そういう時代の人間がものを考えるよりは、やっぱりこれから20年経ったら若者になって、30年経ったら町の中心になる人方のアイデアをちゃんと取らないと駄目だと思っています。

今まちづくりのほうにもそういうワーキンググループを作れと指示して、新年度から、新年度になれば各学校の生徒会だとかは落ち着いてくるから、その段階でやろうという話をして、やっぱり発言力・発表力、それから若い児童、小学校6年生の発想は豊かだし、そういうものを大人が純粋に聞いてあげるようにならないと駄目だということで、今ちょっとしかけをやらせて、当然16歳、17歳の高校生と11歳、12歳の小学校6年生じゃ大きな隔たりはあるけども、それはそれで良いと、それはそれで良いんだけど、そういったものを参考にしないと駄目だっという話をしてます。

これからは高校生の生徒会をまちづくり協議会の中に入れてね、様々に発表させて、そしたらやっぱり発表力もつくしね、今度は駅舎のデザインだとかという話になってくると、そうした若い人方の感性っていうのがそこに現れて出てくるだろうなと思って、そんなこともちょっと考えながら、できるだけ引っ張り出そうと、それは校長先生方にも言明をして出してもらおうということで今話を進めているので、色々コースが、例えば今の飯生神社の上を歩いて富野の神社の所を歩いてイーグルに行くコースもあれば、ぐるっと回るコースなど6コースを考えてくれて、それをきちっと長万部の図面を書いて発表するところまでやってくれた。今年の1月からずっと、生徒会で、冬休み中も考えてくれたというのはやっぱりありがたいなと思ってね。そこを大事にしたいと思ってます。

委員会はみんな大人の人が入っているんだけど、委員会の委員さんには、とにかく新しい発想なんだから良い思いで聞いてくれと、こんな甘ちゃろい考えでなんてって思ったら、あなた方負けよと、それを取り入れる大らかな気持ちを持っていないと駄目だっと言って、この間挨拶をしてきたんだけど。

ちょうどその発表の時に、別な打合せ会議があって聞けなかったんだけど、新聞に報道された記事を見て、今後も様々な場で活用していきたいと思っているので、花のほうも考えながら、後で担当も含めて話し合いたいなと思っていました。

他にも何か色んな話があれば。

●村上教育委員

話題だけなんですけども、毎年理科大で留学生が来るようになっていて、来年度も多分2、3人来るのではないかと。もちろん合格は出しているも私立大ですし、色んな事情もありますので最終

的な手続をしてもらうまでは0っていう可能性もありますけども、私が今知っている限りでは2、3名という噂です。

今年は2名中国人の方が来られて、実際には留学生として入っている外国人は2人なんですけど、中国籍だけど日本の国籍も持っているとか、よくよく見てみると名前もあれっとか、どこなのって聞くと韓国ですとか、いるんですよ。

何の話かという、高校で留学生、国際交流とかで、校長先生から昨年度から呼ばれて、留学生が高校生の前で発表するとかいうことがあって、それが割に好評でしたので、これも昨年度からで、あまりアナウンスをしてなくて申し訳ないんですけど、町の方にも、うちの学生にも聞かせたいということで、あつまんべで発表会をしております。

ようやく今年で3年目になりましたので、これで一応軌道に乗りました。来年度も実施します。それで案内も、案内がっていうか、学生の発表題目が、なんでこの話になるかという、先ほど高校生の発表という話を聞いてああそうかって思ったんで、大学生の発表題目の提出がすごく延び延びになって、結局プログラムを作るのが遅れるので、どうしても年明けの掲示になって、年明けすぐにやっちゃうんで、なかなか町民の皆様方に知らせる機会を逸しているんですけども、大学生のほうもそういう形で発表してですね、来年度そうするとは言えませんが、高校生も中学生もそういう、例えば、1日でやる必要はなくて、じゃあ発表会をうちは2日とか3日かけて総勢6、70名の学生が発表してですね、実は公開できない発表というのも科学系の大学だからありまして、学内の関係者のみっていうことでやってるんですけど、ホタテも一部そういう時がありましたし、毛ガニは今のところそういったシークレットな研究成果は出ておりませんので完全オープンで、しかも死にました死にましたと、毛ガニが死んだっという、飼育3日ともちませんでしたという発表が今年は5つぐらい並んじやったんですけども、そういうのを含めて機会があれば高校生にもということで、あとはぜひ大学生の、或いは留学生の発表も町民の方々に見て頂けるように、来年度は早めにアナウンスしたいと思ってまして、よろしくお願ひしたいと思います。

●木幡町長

1月28日だったと思うんですが、PRが突然現れてきたんで、これを何とか、例えば1月の第四日曜日にはやりますよっていう、テーマが決まらずとも日にちを決めておくという方法も1つの方法だと思うんだけど。

それで今、今日なんですけどベトナムから研修

生が、男子研修生が6名長万部に入って、大浜の2件の漁業者に2人ずつ4名、静狩に2名入ってきて、今長万部に70人くらい研修生がいるんですよ。工場では北勝さん、マタツさんが合わせて大体70人くらい、それから今年入ってくるのはベトナムからの研修生が漁業者の所に入ってくる。この第2弾も入ってくるということで、だから窓口になる通訳はいるのか聞いたら、誰もできないという話でした。

だからやっぱり大学のほうに留学生が入ってくる。我々も研修生を抱えている工場もある。漁家のほうにもベトナム人が来るということで、やっぱりそうした人方のふるさと回帰っていうか、やっぱり懐かしいじゃないですか、北海道のここに来て、自分の国の人方と出会えるっていう機会もね、やっぱりちょっとした機会に広報かけて教えてやればいいのかなど、そんな気もしているし、なんとなく自分のふるさとから出て1年も2年もいると会いたい気持ちにもなるかなと思っていました。

今日はちょっと、使う人方が3人町民課の窓口に来ていたんで、その人達にベトナム語話せるのか聞いたら全然話せないと、最初は手振り身振りでやるしかないなって言ってたけども、やっぱり受け入れる人っていうのはある程度自分達も語学の勉強をしてもらいたいと、向こうから来る人は、結局日本語を習ってきてるんだよね。だからある程度窓口で係のものが話をして、指だとか手で手話通話みたくして大体理解できるんだよね。けど使う人が言葉が出せないんならどうにもならない。語学が分からないなら駄目だわ、あなた方少し勉強しないと駄目だわって言ったら、これから勉強するならゆるぐないなって言いながらいたけども、だんだんこういう風に働き手も雇用の場も国際化してくるっていうことも含めて、大学にいる留学生が、休みの時にアルバイトに行くのではなくて、同じ時間を過ごせるだけで少しは気が休まるのかなど思ったりして話を聞いていたんです。

そういうことも含めて情報の共有をしながら、ホームシックにかかった留学生がいれば、どこどこ行ったらベトナム語を話せる人がいるよとか、どこに行ったら中国語が話せる人がいるよとか、人に会うことが大事だなと思いながら、そういうことも考えながらいければ、もう少し国際化の町をつくれるような、逆にその人方がベトナム語の講師になったりして、それは無理かもしれないけど、そういうことも含めてやっていければと思います。

●村上教育委員

あつまんでの予約は2カ月前ですね。それで、

あつまんべの予約が取れたら日にちは決まるんですけど、発表学生の数が決まらなと、何時から何時までかが決まらなと、ちょっとその辺でなかなかあれですけど。

●北山教育委員長

分からないで行ったんですけどね、本当に分からない生徒の発表もあるんですけど、おもしろかったです。

●木幡町長

終わってからチラシを見て、あれ終わってるって思ったんですが、終わったチラシを見るのも残念だなと思うし。

●村上教育委員

次年度は早めにということでよろしく願います。

●木幡町長

他にありませんか。

(「ありません」の声あり)

それでは他に無いようなので、以上で終了し、議長の職を終えさせていただきます。

本日はありがとうございました。

閉会

●事務局（総務課長）

木幡町長ありがとうございました。

それでは以上をもちまして、平成29年第1回長万部町総合教育会議を終了いたします。皆さんお疲れ様でした。

午後4時25分閉会